

2025年度  
広島文教大学一般選抜(前期B日程)問題

日 本 史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 本冊子は11ページあります。落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所を見いだした場合は、すみやかに監督者に申し出なさい。
3. 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
4. 受験票に記載された受験番号を、本冊子と解答用紙の指定欄にはっきりと記入しなさい。
5. この科目の試験時間は70分です。
6. 本冊子は試験終了後、解答用紙とともに提出しなさい。

受 験 番 号			

〔I〕 次のA・Bの絵画・写真または史料について、それぞれの問いに答えよ。

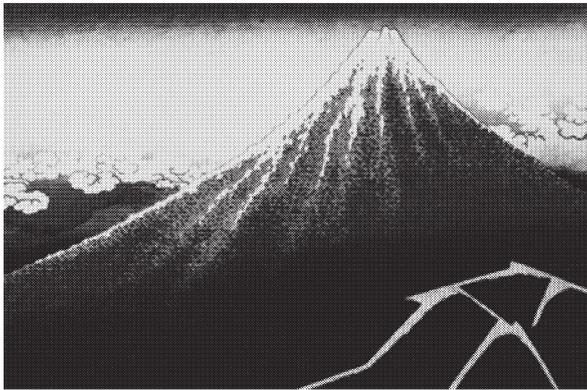
A (1)



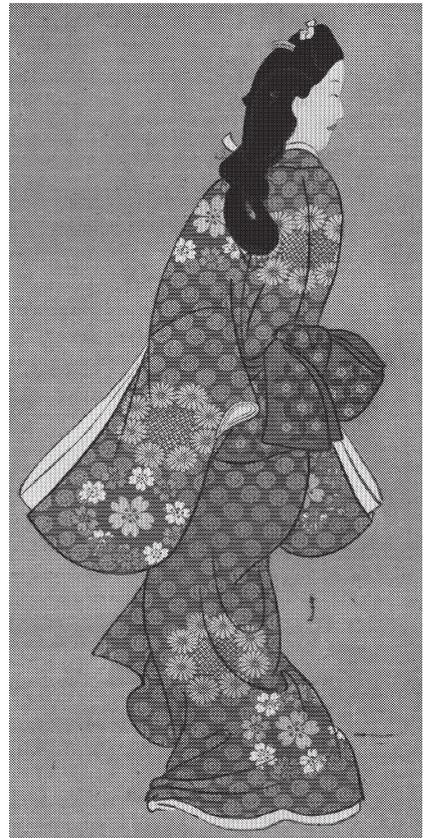
(2)



(3)



(4)



問1 (1)は、ある本屋の店先の光景を描いたものだが、この本屋の出版物が発禁処分となり、経営者とともに著者も罰せられた。その著者は誰か。次のア～エの中から一つ選べ。

ア 為永春水    イ 山東京伝    ウ 山県大弐    エ 渡辺崋山

問2 問1の発禁処分はある幕政改革の一環として行われた。その改革を次のア～エの中から一つ選べ。

ア 寛政の改革    イ 安政の改革    ウ 天保の改革    エ 享保の改革

問3 (2)は何を描いたものか。ひらがな7文字で書け。

問4 (2)の前後の時期の出来事や社会状況についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア イギリス・フランス・アメリカ・オランダの連合艦隊が下関を攻撃した。  
イ 将軍徳川慶喜が大政奉還の上表を朝廷に提出した。  
ウ 天理教・黒住教・金光教などの民衆宗教が急速に信者を増やした。  
エ 明治政府は発足直後に信教の自由を認めた。

問5 (3)を描いた画家を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 葛飾北斎    イ 歌川国芳    ウ 歌川広重    エ 東洲斎写楽

問6 (3)が描かれた前後の時期の社会や文化についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 越後の禅僧良寛が暮らしに素材を求める独自の和歌を詠んだ。  
イ 伊賀の松尾芭蕉が『奥の細道』などの紀行文を著した。  
ウ 江戸の曲亭馬琴が『南総里見八犬伝』を著し評判を得た。  
エ 信濃の小林一茶が村々に生きる民衆の生活を詠んだ多くの俳諧を残した。

問7 (4)の作者を、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 鈴木春信    イ 喜多川歌麿    ウ 尾形光琳    エ 菱川師宣

問8 (1)～(4)を、描かれた年代の古い順に並び替えよ。

B

六 吾等ハ無責任ナル①軍国主義カ世界ヨリ驅逐セラルルニ至ル迄ハ、平和、安全及正義ノ新秩序カ生シ得サルコトヲ主張スルモノナルヲ以テ、日本国国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ基ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ、永久ニ除去セラレサルヘカラス

十 吾等ハ日本人ヲ民族トシテ奴隸化セントシ、又ハ国民トシテ滅亡セシメントスルノ意図ヲ有スルモノニ非サルモ、吾等ノ(あ)俘虜ヲ虐待セル者ヲ含ム一切ノ②戦争犯罪人ニ対シテハ、嚴重ナル処罰ヲ加ヘラルヘシ。日本国政府ハ日本国国民ノ間ニ於ケル③民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙ヲ除去スヘシ。④言論、宗教及思想ノ自由並ニ基本的人權ノ尊重ハ確立セラルヘシ

十二 前記諸目的カ達成セラレ、且日本国国民ノ自由ニ表明セル意思ニ従ヒ、平和的傾向ヲ有シ且責任アル政府カ樹立セラルルニ於テハ連合軍ノ占領軍ハ直ニ日本国ヨリ撤収セラルヘシ

④十三 吾等ハ日本国政府カ直ニ全日本国軍隊ノ無条件降伏ヲ宣言シ、且右行動ニ於ケル同政府ノ誠意ニ付適當且充分ナル保障ヲ提供センコトヲ同政府ニ対シ要求ス。右以外ノ日本国ノ選択ハ迅速且完全ナル壊滅アルノミトス

(日本外交年表並主要文書)

注 (あ) 捕虜 (い) 全十三条

問1 史料Bはどのような史料か。次のア～エの中から一つ選べ。

ア ポツダム宣言 イ カイロ宣言 ウ ヤルタ協定 エ 大西洋憲章

問2 下線部①の「軍国主義」の対象として適切なものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 共産主義 イ 全体主義 ウ 資本主義 エ 国際主義

問3 下線部②の「戦争犯罪人」の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 戦争全般に対する指導的役割について責任を問われた者はA級戦犯と呼ばれ、28人が起訴され、病死などを除いて全員が有罪となった。
- イ 日本人の戦争犯罪人に対する裁判は、A級以外の戦犯についても全て東京で開かれたことから、東京裁判と呼ばれた。
- ウ 天皇制を占領支配に利用しようとしたため、昭和天皇は戦争犯罪人として指定されなかった。
- エ A級戦犯の裁判の判決は、多数派の判事によって起草され、インドのパルらの少数派の判事は別に意見書をまとめた。

問4 下線部③の「民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙」として、戦後に解体・廃止の対象となった制度として正しいものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 供出制    イ 配給制    ウ 天皇制    エ 国家神道

問5 下線部④の「言論、宗教及思想ノ自由並ニ基本的人権ノ尊重」についての戦後の措置の説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 占領軍に対する批判は、いわゆるプレス＝コード（新聞発行綱領）で禁止され、新聞などの出版物は検閲を受けた。
- イ それまでの学校教育で使われてきた教科書が、教育の自由の名のもとに、そのままの形で継続的に使われた。
- ウ GHQの指令を受けずに、それまでの政治犯は即時釈放された。
- エ 戦後の治安悪化により、治安維持法は廃止されなかった。

問6 史料Bの受諾を決めた当時の首相を、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 東条英機    イ 鈴木貫太郎    ウ 小磯国昭    エ 東久邇宮稔彦

問7 史料Bが扱っている前後の時期の歴史的状況について、次のア～エの説明を起きた順に並び替えよ。

ア 連合国51カ国が参加して国際連合が発足した。

イ アメリカ軍が沖縄本島に上陸し、三か月近い戦いの後、占領した。

ウ 日ソ中立条約を無視してソ連が日本に宣戦布告した。

エ マリアナ諸島のサイパン島が陥落した。

〔Ⅱ〕 次のA～Eの文章を読んで、後の問いに答えよ。

- A 律令制の中央行政組織として、神々の祭祀をつかさどる（ a ）と、行政全般を管轄する太政官が置かれた。太政官のもとには政務を分担する①八省が置かれ、行政運営は、有力氏族から任命された太政大臣・左大臣・右大臣・大納言などの太政官の（ b ）の合議によって進められた。
- B 律令制を運用するために、官人には漢字の文筆能力と儒教の教養が求められた。そのため、教育機関として、中央には（ c ）、地方では国ごとに（ d ）が設けられた。また、漢詩文の教養が求められたことを背景に、②漢文学が盛んになった。
- C 9世紀の半ば以降、藤原北家が朝廷の中で勢力を伸ばした。（ e ）の変で北家の優位を拡大させた藤原良房は、清和天皇の摂政に就任した。良房を継いだ（ f ）は、光孝天皇を擁立し、関白に就任した。
- D 9世紀の後半から10世紀になると、③文化の国風化が著しくなった。屏風などの建物内部の仕切りには、中国の故事や風景を描いた（ g ）とともに、日本の風物を題材とし、なだらかな線と上品な彩色を持つ（ h ）が描かれた。
- E 国文学として、皇后（ i ）に仕えた清少納言が『枕草子』を、中宮（ j ）に仕えた紫式部が『源氏物語』を著した。

問1 本文中の空欄 a～j にあてはまる語句・人名を、次のア～ノの中から一つずつ選べ。

- ア 藤原定家    イ 神祇官    ウ 大和絵    エ 承和    オ 詮子  
カ 唐絵    キ 国学    ク 藤原時平    ケ 中学    コ 藤原実資  
サ 公卿    シ 薬子    ス 武家    セ 公家    ソ 大学  
タ 文官    チ 安和    ツ 藤原基経    テ 小学    ト 彰子  
ナ 地方官    ニ 来迎図    ヌ 武官    ネ 定子    ノ 藤原道長

問2 下線部①の「八省」に該当する官省を次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 大蔵省    イ 文部省    ウ 工部省    エ 司法省

問3 下線部②の「漢文学」に関連して、日本人による作品ではないものを、次のア～エの中から一つ選べ。

- ア 『文鏡秘府論』    イ 『白氏文集』    ウ 『菅家文草』    エ 『性霊集』

問4 Cの前後の時期の歴史的出来事の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 坂上田村麻呂は、東北地方の蝦夷に対する戦いを行い、多賀城を築いた。

イ 滝口の武者が設置された。

ウ 右大臣であった菅原道真が九州に左遷され、任地で死去した。

エ 畿内に官田（元慶官田）が設置された。

問5 下線部③の「文化の国風化」の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 貴族の住宅が、開放的な寝殿造の建築様式により建てられた。

イ 和歌が隆盛となり、紀貫之らによって最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編纂された。

ウ かな物語として、『竹取物語』・『伊勢物語』・『平家物語』が書かれた。

エ 書道において、優美な線を表した和様が発達した。

問6 Eの時期の歴史的状況についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選べ。

ア 中央政府に任命された国司は、全員現地に赴任してそれぞれの国の政務をとった。

イ 摂政・関白は、藤原氏の中で最高の地位にある者として藤原氏の氏長者を兼ねた。

ウ 藤原道長は4人の娘を中宮（皇后）や皇太子妃とし、30年にわたって権勢をふるった。

エ 政治の運営は、摂関政治のもとでも、天皇が太政官を通じて、中央・地方の官吏を指揮し、全国を統一的に支配する形をとった。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、本文中の空欄 a～j にあてはまる語句・人名を、下のア～ノの中から一つずつ選べ。

大日本帝国憲法では **a** が統治権の総攬者として位置付けられ、文・武官の任免、陸・海軍の統帥、宣戦・講和や条約の締結など、極めて大きな権限を有していた。他方、帝国議会において、公選制議会である衆議院の立法権行使は、華族や勅選議員などからなる **b** によって実質的に制限されていたが、法律や予算の成立には議会の同意が必要であったため、政府は妥協をはかるようになった。

**c** 首相は、憲法発布直後に、政府の政策は政党の意向によって左右されてはならないという **d** の立場を表明したが、第一回総選挙では旧民権派である **e** が大勝し、政費節減・民力休養を主張して政府を攻撃した。政府と議会の対立は、続く第二議会でも変わらず、議会对応に苦慮した **f** 首相は衆議院を解散し、その後の選挙に激しく干渉したが、情勢をくつがえすことはできなかった。その後を受けて成立した第2次 **g** 内閣は、外相の **h** が **i** に調印して、幕末以来の懸案であった領事裁判権の撤廃に成功し、さらに **j** にも勝利した。

〔語群〕

ア 陸奥宗光    イ 黒田清隆    ウ 国民協会    エ 枢密院    オ 青木周蔵  
カ 天皇    キ 松方正義    ク 伊藤博文    ケ 日英通商航海条約  
コ 大隈重信    サ 超然主義    シ 絶対主義    ス 民党    セ 総理大臣  
ソ 日清戦争    タ 日米和親条約    チ 元老院    ツ 貴族院  
テ 日米修好通商条約    ト 立憲主義    ナ 日露戦争    ニ 国権主義  
ヌ 品川弥二郎    ネ 井上馨    ノ 吏党

〔IV〕 次のA～Eの文章の空欄にあてはまる語句・人名を書き、下線部に該当する場所を次ページの地図のア～トの中から一つずつ選べ。

A この地に永平寺を開いた□□□は、曹洞宗を広めた。

B この地に本拠地を置いた奥州藤原氏が、□□□に滅ぼされた。

C 朝廷は、この地に西海道を管轄する□□□を置いた。

D 豊臣秀吉は、この地に聚楽第を建設し、1588年に□□□天皇を招き、諸大名を集めて政権への忠誠を誓わせた。

E 明治六年の政変で下野し、この地に帰郷した□□□を首領として、1877年に士族反乱である西南戦争が引き起こされた。

